

熊本県立美術館 EXHIBITION

スケジュール

	特別展	細川コレクション	美術館コレクション
10月	平山郁夫展～シルクロードから薬師寺へ～ 9月18日(木)～10月24日(金)	細川コレクションⅢ ＜特集＞ 信長からの手紙 10月10日(金)～12月14日(日) (常設展示は12月23日(火・祝)まで)	美術館コレクションⅢ ＜特集＞ 生誕300年 矢野雪叟 —雪舟への回帰— 10月10日(金)～12月23日(火・祝)
11月	パスキン展 哀愁と悲劇の天才画家		
12月	—エコール・ド・パリの寵児— 10月30日(木)～1月12日(月・祝)		
1月		細川コレクションⅣ ＜特集＞ 細川宏子	美術館コレクションⅣ ＜特集＞ 牛島憲之
2月		—幕末維新时期を生きたお姫さま— 1月8日(木)～3月22日(日)	1月8日(木)～3月22日(日)
3月			

関連イベント

ミュージアムセミナー

展示会の内容や当館の活動に関するくわしい話、美術や歴史についての裏話などを楽しくご紹介するセミナーです。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。

10月11日(土)
14:00～15:00
「流派再興!矢野雪叟の画業」
講師:当館学芸員 金子 岳史
会場:本館講堂

11月15日(土)
14:00～15:00
「パリに散った画家パスキン—哀愁のエコール・ド・パリ」
講師:学芸課長 村上 哲
会場:本館講堂

特別講演会

細川コレクション「信長からの手紙」に関連した特別講演会を開催します。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。

10月18日(土)
13:30～15:00
「細川家伝来の織田信長文書と戦国社会」
講師:熊本大学文学部附属
永青文庫研究センター
教授 稲葉 穂陽氏
会場:本館講堂

11月22日(土)
13:30～15:00
「織田信長と長岡藤孝にとつての天正三年」
講師:東京大学史料編纂所
准教授 金子 拓氏
会場:本館講堂

子ども美術館

展示会の内容にあわせ、美術や歴史の理解につながる子ども向けのワークショップを開催します。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。ただし、展示室に入場される場合には、観覧料が必要となりますのでご注意ください。

10月19日(日)
10:30～12:00
「中世の手紙に挑戦!」

11月30日(日)
10:30～12:00
「LOVE パスキン」

学芸員による ギャラリートーク

コレクション展の会期中(10月10日～12月23日)、毎月第二・第四日曜日の14時から、本館二階展示室において当館学芸員が30分程度作品解説をいたします。なお、ギャラリートークのご参加には観覧料が必要となりますので、ご注意ください。

同時開催

平山郁夫展 ～シルクロードから薬師寺へ～
9月18日(木)～10月24日(金)

わが国を代表する日本画家、平山郁夫の没後5年にあたる本年、代表作を含む約100点により、画業を振り返ります。壮大な構想の薬師寺「大唐西域壁画大下図」を特別展示するなど、平山が追求した日本の美を伝えます。

パスキン展 哀愁と悲劇の天才画家—エコール・ド・パリの寵児—
10月30日(木)～1月12日(月・祝)

1920年代、エコール・ド・パリの画家として活躍したジュール・パスキン。モディリアーニや藤田嗣治らと交友しながら、哀愁を湛える画風を拓きました。国内外の作品を中心に、その絵画世界と波乱に満ちた人生を紹介します。

交通案内

Transportation guide

- バス/交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、センターから歩いて15分または熊本城周遊バスに乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)三の丸駐車場(有料)



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館[本館]

本館 〒860-0008 熊本中央区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512
http://www.museum.pref.kumamoto.jp/

特集 生誕300年 矢野雪叟

—雪舟への回帰—

YANO SESSO



会期 平成26年10月10日(金)～12月23日(火・祝)

※作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。

◆会場:二階展示室第2室

主催/熊本県立美術館

矢野雪叟《山水図屏風》(右隻) 江戸時代中期(18世紀)
熊本県立美術館所蔵
※展示期間:10/10(金)～11/9(日)



HAMADA CHIMEI

美術館コレクション 浜田知明の 新作彫刻 —《杖をつく男》初公開—

会期 平成26年10月10日(金)～12月23日(火・祝)

※作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。

◆会場:二階展示室第3室

主催/熊本県立美術館

浜田 知明 《杖をつく男》 ブロンズ 2013
HAMADA Chimei "The Man who Attaches a Cane"

観覧料金

- 共通券/一般420円(300円) 大学生250円(190円)
- 別棟展示室のみ/一般210円(160円) 大学生130円(100円)
- 本館二階展示室のみ/一般270円(190円) 大学生160円(120円)

高校生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方無料
※()内は20名以上の団体料金 ※先売券なし

開館時間/9時30分～17時15分(入館は16時45分まで) 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)ただし、11月17日(月)は障がいのある方々の鑑賞デーとして開館



重要文化財指定記念 信長からの手紙

会期 10月10日(金)～12月14日(日)

永青文庫には全国屈指の質量をほこる古文書群『細川家文書』が伝来し、その多くは熊本大学附属図書館に預けられています。なかでも中世文書の評価は高く、永青文庫研究センターの地道な調査・研究を踏まえ、昨年6月に重要文化財に指定されました。重要文化財指定を記念する本展では、新たに指定された『細川家文書』から織田信長文書59通をピックアップ。展示替えをしつつ、一挙に公開いたします。「信長からの手紙」がこれほどまとまって伝来しているのは、全国でも『細川家文書』だけ。しかも、その内容は「天下布武」を目指した信長の歩み、彼に従った細川家の動向をあますところなく伝える、たいへん貴重なものです。特別展示する関連作品《長篠合戦図屏風》や熊本初公開の《織田信長像》とあわせて、この機会に是非ご覧ください。



〔織田信長像〕江戸時代前期(17世紀) 大雲院所蔵 ※展示期間:10/10(金)～11/9(日)



〔織田信長未印状〕元亀4年(1573) 永青文庫所蔵 熊本大学附属図書館寄託 ※展示期間:10/10(金)～11/9(日)



〔織田信長自筆感状〕天正15年(1587) 永青文庫所蔵 ※展示期間:11/11(火)～12/14(日)



〔長篠合戦図屏風〕江戸時代前期(17世紀) 犬山城白帝文庫所蔵 ※展示期間:10/10(金)～11/9(日)

細川コレクション常設 [本館二階第1室]

会期 12月16日(火)～12月23日(火・祝)

《信長からの手紙》の終了後、本館二階第一室では、伝宮本武蔵《芦雁図屏風》(重要文化財)をはじめ、細川コレクションの近世絵画の屏風絵の名品を展示します。



重要文化財 伝宮本武蔵《芦雁図屏風》 江戸時代前期(17世紀) 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

細川コレクション常設 [別棟展示室]

会期 10月10日(金)～12月23日(火・祝)

細川コレクションでは、公益財団法人永青文庫の所蔵品を中心に、熊本の歴史・美術や細川家の大名文化を総合的に紹介する展示を行っています。第3期の常設では、平成25年度に新たに重要文化財の指定を受けた細川家中世文書を展示するほか、細川家の藩主が用いた甲冑、近世細川家の書画などを展示します。

併設展示

重要文化財指定記念 加藤清正所用の蒔絵調度

本年度、新たに国の重要文化財に指定された本妙寺伝来の蒔絵調度類を特別公開します。



重要文化財《蒔絵紋蒔絵香箱》 桃山時代(16世紀) 本妙寺所蔵 ※展示期間:11/11(火)～12/23(火・祝)



伝細川頼有所用《白糸威取大鎧写》 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

〈特集〉生誕300年 矢野雪叟 一雪舟への回帰

2014年は、細川家御用絵師・矢野派の第四代矢野雪叟の生誕300年という節目の年になります。矢野派は、山口の雲谷派から派生し、初代矢野三郎兵衛吉重は、忠興と忠利に仕えて熊本城の障壁画を描くなどの活躍をしました。しかしそれ以降の矢野派は徐々に廃れ、正徳2年(1712)、三代目茂安の一代限りで廃絶が決まります。そのような状況から、矢野派を復興させたのが雪叟です。茂安の弟子であった山田安良(雪叟)は、中国絵画や室町・桃山時代のさまざまな絵画を学び、やがて雪舟流を基調とする矢野派の様式を確立させます。次世代の矢野良勝・衛藤良行が、15巻にも及ぶ《領内名勝図巻》を制作することができたのは、雪叟が築き上げた流派体制があったからともいえます。この特集展示では、雪叟とその周辺の作品を通して、矢野派が再興され、流派様式が確立される過程を探ります。



矢野雪叟《旭日に猛禽図》 江戸時代中期(18世紀) 熊本県立美術館所蔵 ※展示期間:10/10(金)～11/9(日)



熊本県立美術館所蔵



矢野雪叟《山水図屏風》(右隻) 江戸時代中期(18世紀) 熊本県立美術館所蔵 ※展示期間:10/10(金)～11/9(日)



矢野雪叟《遊鯉図屏風》(左隻) 江戸時代中期(18世紀) 熊本県立美術館所蔵 ※展示期間:11/11(火)～12/23(火・祝)

美術館コレクション

浜田知明の新作彫刻 ―《杖をつく男》初公開―

2012-13年のニューヨーク近代美術館や2014年のルーブル・ランス美術館の企画展で作品が展示され、いま改めて世界から注目されている熊本在住の版画家・彫刻家、浜田知明。96歳の現在も「制作するために生きる」と、元気に作品制作に取り組んでいます。今展では、昨年95歳で完成した《杖をつく男》を初公開いたします。併せて、それにつながる近作彫刻《幽界を覗く人》、《チャックを閉じた男》、《水》など、九州初公開作品6点を含む浜田の彫刻作品の代表作を展示いたします。また、浜田の旧制中学時代の恩師・富田至誠や先輩の井手宣通、村上賢秀など浜田の周辺の熊本の画家の作品を展示します。

浜田知明版画室では、1985年の《むし暑い夜》をはじめとして、《月夜》など猫が登場する作品、ピキニ環礁での核実験から30年以上も考え抜いて結実した核戦争がテーマの《ボタン(B)》や《鳥》とその原板など1990年までの作品を展示します。



浜田 知明 《幽界を覗く人》ブロンズ 2010



浜田 知明 《チャックを閉じた男》ブロンズ 2009



浜田 知明 《壁にぶちあたった男とそれを喰う男》ブロンズ 2005

美術館コレクション 常設

熊本県立美術館の所蔵品の中から、毎回選りすぐりの作品を展示する「美術館コレクション」。第Ⅲ期の常設では、藤田嗣治(レオナルド＝ツグハル・フジタ)やパスキンなどのエコール・ド・パリの画家たちの名作をはじめ、ルノワールやヴラマンクの珠玉の名画で、画家たちの交流を紹介します。



ジエール・パスキン《果物籠を持つシスターウイケン》 1909年 熊本県立美術館所蔵